



マルティン・エンゲルブレクト

《3Dフォーム》

単語が書かれた二つの扉を選択しつづけて小部屋を抜けていくと、最後に出た扉の裏側に「あなたはこういう人です(多分)」と書かれてあって、それを他のお客さんに見られてしまうという恥ずかしい(つじ)作品。

よくある性格テストの立体版なのですが、コレ、学祭とか文化祭の出し物としてやったら結構面白そうな気がします。

時代は3Dだし(でも売れているんですかねえ、3Dテレビ)。

他の展示は《迷惑電話撃退マニュアル》とか、

入り口で渡された小さな煉瓦ブロックを観客が(小さな鏝でセメントを塗って)積み上げるという《小さな東京モニュメント》とか、

希薄化する近所づきあいを支援するツール群(!)《ご近所ショップ》とか。

他者とのコミュニケーションを題材とした作品が展示されていました。

ちなみにわたしは「ハンドルを右に」とマジックで書き込んだ煉瓦をどこかに積ませていただきました。

行った方、是非探さないでください。

なぜ「インド人を右に」と書こうと思いついたのか、今になっても思い出せません。

え、「どっちを書いたんだ」ですって？

古いネタです。どうかお気になさらず。